

被災地の太鼓団体である「志賀天友太鼓」が、県外のNPO法人と協力し、地元の温泉施設「アクア・パーク・シオン」で、うどんやぜんざいを振る舞ったと2月中旬の北國新聞で掲載された。そこでは太鼓も用意され、町の子どもたちが思い切り打ち鳴らし、楽しまれたそうだ。

そして、当財団主催の日本太鼓ジュニアコンクール石川県代表である輪島和太鼓虎之介の子どもたちが、2月10日にスタジオに集まり震災後初の練習を再開させた。3月24日に開催される埼玉県大宮市でのコンクールへの参加の意向を示された。

御陣乗太鼓保存会に続き、輪島和太鼓虎之介の練習再開、そして、22日には御神事太鼓保存会の今井昴さんもお越しになった。当財団の支援も状況に合わせて、次のステップへと移行する。

*

*

*

2024年2月10日(土)・11日(日)

輪島和太鼓虎之介(浅野太鼓 studio)

金沢市や白山市に避難していた子どもたちが、震災後初のチーム練習を行った。輪島市から駆けつけた橋爪朱宗代表が「元旦にどうしようもないことが起きた。でも、そこで立ち止まってはいけない。」と子どもたちに語りかけた。1月11日に輪島市に支援物資をお届けした際、避難中でも、コンクールの課題曲を、子どもたちがLINEを通して自主的に練習していたことを代表から伺っていた。

大平太鼓の革を両手で撫でて感触を確かめる子どもや、久しぶりの仲間同士との会話を楽しむ子どもたちの姿を見て、周囲の大人たちから「震災前の子どもたちがそこにいる。なんだかほっとするね」と笑顔がこぼれた。





練習再開の様子は、NHK総合「能登半島地震 ライフライン情報」(12時15分～)で生中継として全国放映され、その夜のニュース7でも取り上げられた。取材後に報道陣からは、「頑張って、元気を有り難う！」と声援が送られた。

尚、ご出場されるメンバーの方々には、浅野太鼓楽器店よりバチとバチケースが無償提供された。

2024年2月18日(日)

御陣乗太鼓保存会(浅野太鼓 studio)

先週に引き続き、2回目の合同練習が行われた。震災後に初めて顔を合わせるメンバーも参加された。保存会の後継者候補の1人であり、今春高校を卒業される南雄輝さんも練習に加わった。4月から県外に就職され、しばらく太鼓から離れることになるが、いつか輪島に戻り太鼓を打ちたいと話してくれた。



御陣乗太鼓の打ち方は、基本のリズムは守りながらも、1人として同じものはない。憧れの先輩の背中を見て、技を真似て、そこから独自の見得を作り上げていく。まさしく「守破離」の世界である。久しぶりの練習に手の皮がむけたが、先輩達から、見得の切り方や、バチの振り下ろし方、打面の位置など熱い指導を受けていた南さんの表情は、最後まで晴れやかだった。

2024年2月22日(木)

御神事太鼓保存会 今井昂(浅野太鼓 studio)

輪島市の御神事太鼓保存会に所属し、プロ和太鼓奏者としても活躍されている今井昂さんが、本格的に練習をスタートされた。一打一打、音を確かめながら打ち込んでいく。

ご家族でコンビニエンスストアを数店舗経営されているが、今回の震災でお店やご自宅も大きな被害を受けた。それでも、1月11日に輪島でお会いした際には、地元の方々のために時間短縮でお店を開けて、「ありがとうございます」とお客様へ挨拶される今井さんの姿があった。

今井昂さんは、3月17日に開催される熊本城大太鼓打ちコンテストに、前年度最優勝受賞者としてご出演される。熊本城の空に能登魂の太鼓が響き渡る。



練習場にかかる交通費の支援は下記の通りです。

(公財)日本太鼓財団 交通費代支援 計算表(1月・2月分)

団体名	金額
御陣乗太鼓保存会	19,979
輪島和太鼓虎之介	42,992
御神事太鼓保存会	4,743

合計 67,714

(2024年3月6日)

*

*

*

支援にあたり、浅野太鼓楽器店の浅野正規専務から引き続きご協力を頂いております。
ありがとうございます。

多くの方々からご寄付を頂いており、寄付金の累計額は3月7日現在で8,533,329円となりました。

心より御礼申し上げます。

お預かりした寄付金は大切に使用まいります。

収支計算書(3/7 現在) (単位:円)

収入		金額	属性	備考
1/5	全九州太鼓連合	1,000,000	地区	
1/6	関八州太鼓連合	100,000	地区	
1/9	東北太鼓連合	300,000	地区	
1/18	浅野太鼓楽器店	1,000,000	賛助	
1/27	河合 光夫	10,000	その他	シニアコンクール出場者
1/29	福井県太鼓連盟	30,000	支部	
1/29	松本 弘昭	35,000	その他	シニアコンクール出場者
2/1	東京都支部	100,000	会員	
2/2	櫛引 秀明	50,000	その他	シニアコンクール出場者
2/2	浅野 義幸	100,000	その他	浅野太鼓楽器店 17 代当主
2/6	岡山県支部	110,000	支部	
2/7	宮城県太鼓連絡協議会	150,000	支部	
2/8	北海道道東支部	30,000	支部	
2/9	茨城県支部	95,000	支部	
2/13	千葉県支部	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟	100,000	支部	
2/13	岐阜県太鼓連盟獅子の会	50,000	その他	国文祭ゲスト団体
2/13	全九州太鼓連合	2,805,701	地区	
2/14	神奈川県支部	50,000	支部	
2/16	佐々城 清	1,000,000	本部	常務理事
2/16	高野 右吉	10,000	その他	副会長
2/16	宮城県太鼓連絡協議会	20,000	支部	
2/16	滋賀県支部	50,000	支部	
2/18	兵庫県支部	200,000	支部	
2/26	日本太鼓財団事務局	143,000	本部	
2/29	静岡県支部	100,000	支部	
3/1	奈良県支部	162,000	支部	
3/4	台湾太鼓協会	500,000	その他	

3/7	北海道道北支部	132,628	支部	
	計	8,533,329		

支出		金額		備考欄
1/11	輪島支援物資	121,741		
1/19	穴水/能登町/志賀町	130,080		
1/27	志賀町/輪島	18,415		
2/8	名舟町	54,780		
2/11	輪島/七尾	28,534		
1,2月	各チーム交通費	67,714		
	計	421,264		

収支差額		8,112,065	
------	--	-----------	--